

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.289 2016.9.14 連絡先 402-1622 >



ひめだ高宏議員の一般質問

姫田市議は伏虎義務教育学校の開校に伴い閉校される伏虎中、雄湊小、本町小の各跡地に大学誘致をめざす「3大学構想」について「大学ができて、それだけでまちなかに賑わいができるとは考えにくい」と質問。市長は「学生や若者が歴史、文化、まちづくりの担い手となって、地域交流を活性化させ、賑わいの創出につなげていけるよう、とりくむ」としました。

減り続ける人口問題では「非正規雇用が当たり前で2つも3つも仕事を掛け持ちしてようやく暮らせる状況を改善せず人口を増やすことは難しい」と指摘。市長は「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援や産業振興による雇用創出など新規施策の検討・議論をスタートさせている」と答えました。



ごみ減量問題で市民環境局長は「他の中核市と比べてもまだ市民一人当たりのごみ排出量は多く、リサイクル率が低い」と報告しました。

南畑さちよ議員の一般質問

南畑市議は、市の就学援助の実態を追及。教育局長は、学用品費の支給単価が中核市でも県内でも低いことを報告。新入学時の学用品費の支給は新規で7月、継続でも6月になっている問題で、必要な時期に速やかに支給することとする文科省通知も示しての質問に、教育局長は「まずは中学校へ入学する継続申請の方を対象に早い時期に支給できるよう、周知時期や決定時期など課題を整理しながら実施することを検討する」と答弁しました。

学校給食問題で南畑市議は、自治体の補助制度が広がり県内でも高野町と北山村が全額、新宮市が月1000円の補助をしていることを紹介し無償化を求めました。教育局長は、中核市45のうち和歌山市を含む3市だけが光熱費の一部を保護者負担にしていることを報告し「光熱費の全額公費負担について今後検討する」と答弁。学校給食費の無償化について市長は「多額の財源確保が必要」と拒否しました。



みち子のひとりごと リハビリ

日で痛みは取れてきました。背骨そのものが自然な形ではないなんて、まったく想像していません。たことです。長年の生活習慣によるものでしょう。この際ですから、去年の骨折以来、何だかスッキリしないこの身体、しっかりしないとメンテナンステスしてもらおうと思いません。



左の腰の痛みが強くなり、整形外科へ行きました。診察の結果、「姿勢が悪い」と。腰椎が扁平？自然なカーブがなくなっすぐな状態なので神経にさわって痛みが出るのだろうとのこと。今のところ椎間板ヘルニアといった症状はないけれど、このままだと首や肩だけでなく骨そのものにも影響が出ると言われ、リハビリに通うことになりました。

息子のような年の先生に、うつむいて、横向いて、と言われ「どっこいしょ」と言うのも恥ずかしく、痛みをこらえてゆっくりしか動けない情けなさ。それでも終わった後は体がすっきりする感じ。教わったストレッチをして、姿勢に気をつけていたら、不思議と2、3



東京オリンピックの時に小2だった私はチャスラフスカ選手の体操演技に感動。そして52年後、彼女の生きざまは、再び私に感動を与えてくれました。

レオタードの色は、華やかな赤から抗議の黒へと変わっていきます。1964年東京五輪。当時、体操女子のチェコスロバキア代表だったベラ・チャスラフスカさんの演技に日本中が注目しました▼「名花」。流れるような優美な体操はそうたたえられました。それから4年後のメキシコ五輪。個人総合で連覇を果たした彼女の演技は気迫がほとばしりました。直前に生まれ育ったプラハの街がソ連の戦車に踏みこまれていたのです▼68年、覇権主義のソ連とは別の道を歩もうとしたチェコの民主化運動は最高潮に。「プラハの春」と呼ばれた運動をチャスラフスカさんも支持。多くの知識人や著名人とともに、誤った社会主義との決別を表明した「二千語宣言」に署名しました▼チェコの自主的な運動を「社会主義からの逸脱」と非難したソ連は東欧4カ国の軍隊を率いてプラハに侵入。武力で干渉し、弾圧と迫害が始まりました▼祖国のヒロインの生活も一変します。職を奪われ、度重なる脅迫や盗聴におびえ、命ともいえるスポーツも取り上げられる。しかし絶望と苦悩の日々の中でも、彼女は最後まで署名を撤回せず、信念を貫き通しました▼それから約20年後、東欧諸国が改革を成し遂げた後、大統領顧問となったチャスラフスカさんは本紙特派員のインタビューにこう答えています。「良いことは必ず勝利すると信じていた」。74年の激動の生涯。一輪の名花はどんな困難にも枯れることなく、自由を求めて凜(りん)として輝きつづけました。

(しんぶん赤旗9月2日付潮流より)

「あたりらしい憲法のはなし」 ⑥

えおんてのえゆさか
さいやでもらくくんか
さんがおできるぶくが
がでねるみなのこと
、しえことなさん、が
選挙う。にす。がの
の。そは。二十
投票の。にす。二十
に。お二な歳に
ゆに十さんにつ
かい歳さんない
れるさ以上の
のやのには
をお方いい
みねもさめ

す。まやな
せ。つ。よ。国
ん。て。く。が
。ゆ。じ。ま
これくぶ
がらんで
民い、く
主たじの
主義のぶ
といの。え
うこの国
ものはこ
のでたら
であ

地域の子どもたちを地域で支えるための
ボランティア養成研修

近畿ろうきん
NPOアワー
ド助成金事業

9月25日(日)

13:15 受付 13:30 開始
13:45~15:00 子どもの貧困を理解しよう
15:15~16:30 大人の出番です

河北コミュニティセンター ワークルーム

講師：幸重忠孝さん

対象：子ども食堂に関心のある方、
ボランティアとして参加・参加希望の方

申込：お名前・年齢・電話番号をファックスで452-7710まで

講師の幸重忠孝さん一児童養護施設職員、大学教員を経て幸重社会福祉事務所設立。子どもの居場所づくりの活動に先進的に取り組んできた方。

